

## 県内畑土壌 35 年間の変化 ～畑土壌の養分含量の実態～

### 【1 成果の概要】

- (1) 畑土壌の pH は、概ね適正な範囲で推移しています。
- (2) 土壌中リン酸含量には、前回調査から大きな変化はありません。一方、土壌中カリ含量は、デントコーンを除く全ての作物で前回調査から減少しています。
- (3) 前回調査と同様に、露地野菜畑の約 3 割がリン酸過剰、約 4 割がカリ過剰となっています。
- (4) 普通畑（小麦・大豆等）及びデントコーン畑においても、3 割以上がリン酸・カリ過剰となっています。一方で、デントコーン畑の半数以上はリン酸不足となっています。

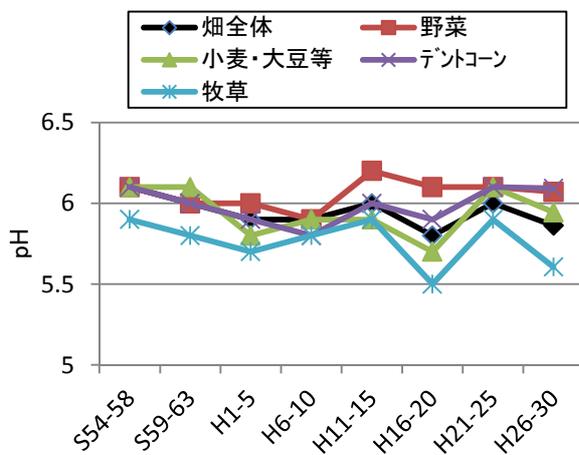


図1 土壌 pH の推移

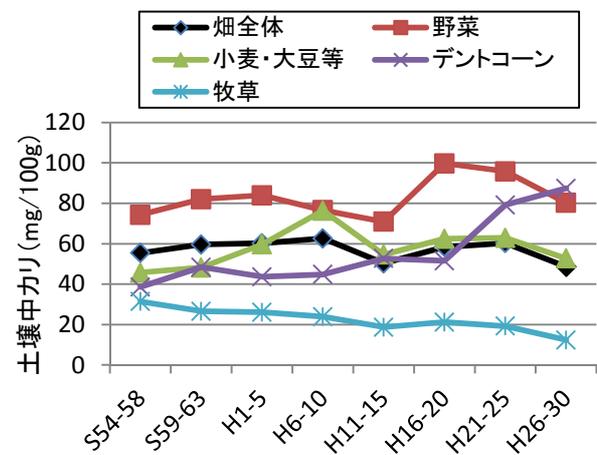


図2 土壌中カリ含量の推移

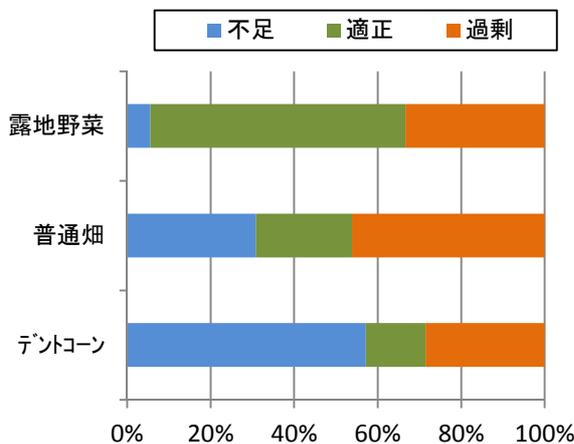


図3 土壌のリン酸含量別のほ場割合 (H26-30 調査分)

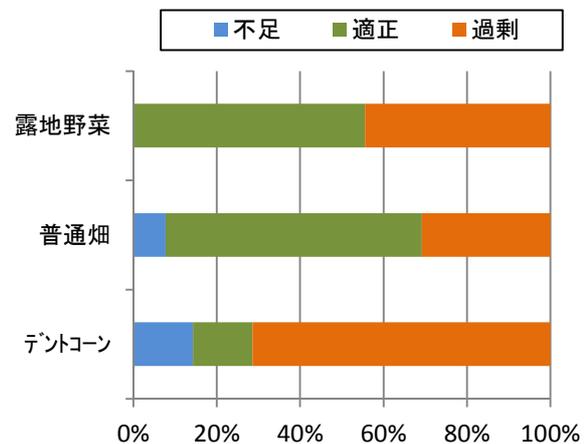


図4 土壌のカリ含量別のほ場割合 (H26-30 調査分)

### 【2 留意事項】

- (1) 本成果は県内全体の傾向を示すものですので、各地域の土壌化学性を評価する場合は各地域で実施している土壌診断のデータも考慮してください。
- (2) 草地更新等の除染対策により、現在の草地土壌の化学性（カリ含量等）は本調査時点から大きく変わっている可能性があります。